

(第9号様式)

令和4年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	全体事業概要と目的	採択年度	完了年度 総事業費		事業の効果	事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	事業を巡る社会経済情勢等の変化	県民の意見	今後の課題
						当初	当初					
						最終	最終					
砂防事業	505	松ヶ久保川	津市美里町平木	【全体事業概要】 ・全体事業費:531百万円 ・堰堤工1基 【事業目的】 本溪流において、土石流による土砂および流木の流出を未然に防ぎ、人命や財産、公共施設などを保全するため、砂防事業を実施した。	H21	H26	520	①砂防堰堤の完成後、土砂災害は発生していない。(土石流による土砂および流木の流出を未然に防いでいる) ②費用対効果 B/C=5.16>1.0 ③その他の効果 ・緊急輸送道路の被害の防止(国道163号) ・土砂災害に対する地域住民の安心感の向上	・経済断面を採用することによって、本堰堤の体積を削減し、資材の使用量の削減している。 ・残存型枠の三重県認定リサイクル製品を活用し、製造過程において天然資源の使用を削減している。	・短時間強雨の発生回数の増加に伴う土砂災害の発生リスクが増加、及び人口減少と高齢者の増加により、土石流対策事業の重要性が高くなっている。	・回答者の88%が60代以上であり、地域の高齢化が進んでいることが伺える。 ・松ヶ久保川砂防堰堤の整備により、安心して暮らせるようになったと感じている回答者は71%と高く、事業に対して満足していると思われる。 ・災害が発生した際に利用する避難場所の認知度は83%と高い。 ・津市が土砂災害ハザードマップを作成し、公表していることの認知度は67%と高い。 ・松ヶ久保川が土石流による災害が発生する恐れのある溪流であることの認知度は50%と高くない。	・土砂災害警戒区域の認知度を向上させ、避難行動につなげるように、概ね5年ごとに行われる土砂災害警戒区域の見直し時に、改めて、土砂災害警戒区域の範囲、意味、土砂災害発生の可能性、避難行動の必要性等を対象地区住民の方々に繰り返し説明する。
						H29	531					

※再評価実施事業は「前回」とし、再評価時の値を記載する。それ以外は「当初」とし、当初計画時の値を記載する。

※ 記載注意

- 1 事業名、番号、箇所名、市町名は、第2号様式に準じて記載してください。
- 2 全体事業概要と目的は、説明資料から要旨のみを抜粋し、可能な限り箇条書きとしてください。
- 3 採択年度、完了年度は、英字半角大文字、数字半角文字としてください。
- 4 ○○の欄は、再評価未実施の場合は当初として当初計画時の内容を、再評価実施済みの場合は前回として前回評価時の内容を記載してください。
- 5 総事業費は百万円単位とし、数字半角文字とします。
- 6 事業の効果、事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化、事業を巡る社会経済情勢等の変化、県民の意見、今後の課題等は、説明資料から要旨のみを抜粋してください。
- 7 様式は、表計算ソフトのデジタル媒体としてください。

令和4年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	全体事業概要と目的	採択年度	完了年度 総事業費		事業の効果	事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	事業を巡る社会経済情勢等の変化	県民の意見	今後の課題
						当初	当初					
						最終	最終					
砂防事業	506	松の木谷川	津市美杉町八知須測	【全体事業概要】 ・全体事業費:537百万円 ・堰堤工1基	H21	H26	340	①砂防堰堤の施工後、土砂災害は発生していない。(土石流による土砂および流木の流出を未然に防いでいる) ②費用対効果 B/C=1.06>1.0 ③その他の効果 ・緊急輸送道路の被害の防止(県道15号) ・土砂災害に対する地域住民の安心感の向上 ・土石流に伴う雲出川の閉塞防止	・経済断面を採用することによって、本堰堤の体積を低減し、資材の使用量を削減した。 ・残存型枠の三重県認定リサイクル製品を活用し、製造過程において天然資源の使用を削減している。	・短時間強雨の発生回数増加に伴う土砂災害の発生リスク増加、及び人口減少と高齢者の割合増加により、土石流対策事業の重要性が高くなっている。	・回答者の90%が60代以上であり、地域の高齢化が進んでいることが伺える。 ・松の木谷川砂防堰堤の整備により、安心して暮らせるようになったと感じている回答者は47%である。 その一方で、42%の方が安心して暮らせるようになったと思わないと回答しており、土石流に対する不安が拭いきれない方も一定数いる。 ・津市が土砂災害ハザードマップを作成し、公表していることの認知度は84%と高い。 ・松の木谷川が土石流による災害が発生する恐れのある溪流であることの認知度は88%と高い。	・実効性のある警戒避難体制を確立するため、過疎化地区や高齢化地区における警戒避難体制整備の先進事例を紹介するなどにより、警戒避難体制整備の主体である津市を支援していく。
				【事業目的】 本溪流において、土石流による土砂および流木の流出を未然に防ぎ、人命や財産、公共施設などを保全するため、砂防事業を実施した。		H29	537					

※再評価実施事業は「前回」とし、再評価時の値を記載する。それ以外は「当初」とし、当初計画時の値を記載する。

※ 記載注意

- 1 事業名、番号、箇所名、市町名は、第2号様式に準じて記載してください。
- 2 全体事業概要と目的は、説明資料から要旨のみを抜粋し、可能な限り箇条書きとしてください。
- 3 採択年度、完了年度は、英字半角大文字、数字半角文字としてください。
- 4 ○○の欄は、再評価未実施の場合は当初として当初計画時の内容を、再評価実施済みの場合は前回として前回評価時の内容を記載してください。
- 5 総事業費は百万円単位とし、数字半角文字とします。
- 6 事業の効果、事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化、事業を巡る社会経済情勢等の変化、県民の意見、今後の課題等は、説明資料から要旨のみを抜粋してください。
- 7 様式は、表計算ソフトのデジタル媒体としてください。

(第9号様式)

令和4年度三重県公共事業事後評価箇所一覧表

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	全体事業概要と目的	採択年度	完了年度総事業費		事業の効果	事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化	事業を巡る社会経済情勢等の変化	県民の意見	今後の課題
						当初	当初					
						最終	最終					
砂防事業	507	奥西谷	熊野市新鹿町奥	【全体事業概要】 ・全体事業費:537百万円 ・堰堤工1基	H20	H28	500	①砂防堰堤の完成後、土砂災害は発生していない。(土石流による土砂および流木の流出を未然に防いでいる) ②費用対効果 B/C =3.99 > 1.0 ③その他の効果 ・緊急輸送道の被害の防止(国道42号熊野尾鷲道路) ・地域住民の土砂災害に対する安心感の向上	・自然斜面の早期回復を図り、埋戻部に緑化工を施すといった環境に配慮した工法を採用した。 ・堰堤前面の樹木を残置し、熊野尾鷲道路や集落から堰堤の存在が目立たないように景観に配慮した。	・短時間強雨の発生回数増加に伴う土砂災害の発生リスクが増加、及び高齢者の増加により、土石流対策事業の重要性が高くなっている。 ・下流には海水浴場があり、堰堤直下流にある国道42号熊野尾鷲道路が訪問の手段として重要となっているため、本堰堤による土石流からの保護が重要となっている。	・回答者全員が60代以上であり、地域の高齢化が進んでいることが伺える。 ・砂防堰堤の効果については、60%の住民が安心して暮らせるようになったと回答した。 ・三重県土砂災害情報提供システムの認識度は20%となっており、さらなる周知が必要である。 ・今後の土砂対策としてハード・ソフトの双方から推進すべきであると考えている住民が多数である。	・土砂災害警戒区域のさらなる周知を行う。 ・三重県土砂災害情報提供システムのさらなる周知を行う。
				H29		537						

※再評価実施事業は「前回」とし、再評価時の値を記載する。それ以外は「当初」とし、当初計画時の値を記載する。

- 1 事業名、番号、箇所名、市町名は、第2号様式に準じて記載してください。
- 2 全体事業概要と目的は、説明資料から要旨のみを抜粋し、可能な限り箇条書きとしてください。
- 3 採択年度、完了年度は、英字半角大文字、数字半角文字としてください。
- 4 ○○の欄は、再評価未実施の場合は当初として当初計画時の内容を、再評価実施済みの場合は前回として前回評価時の内容を記載してください。
- 5 総事業費は百万円単位とし、数字半角文字とします。
- 6 事業の効果、事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化、事業を巡る社会経済情勢等の変化、県民の意見、今後の課題等は、説明資料から要旨のみを抜粋してください。
- 7 様式は、表計算ソフトのデジタル媒体としてください。